

みなさまと病院をつなぐ情報誌

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください。

立川綜合病院
腎センター・健診センター
建設予定地
平成28年秋 開院予定

2・3

年頭のご挨拶 理事長・三病院長

特集1 医薬品副作用被害救済制度 4・5

平成25年度 大忘年会 6

登録医のご紹介 山谷クリニック／山谷春喜先生 7
窪田医院／窪田久先生

TOPICS 5B病棟クリスマス会／総合防災訓練 8
東北中学校生徒より小児科へDVD寄贈

立川綜合病院及び腎センター、
たちかわ総合健診センター移転
予定地
上条高畠土地区 国道17号線
高畠南交差点北側
平成28年秋に開院をめざして
工事がはじまりました。
後方は長岡市立旭岡中学校

2014 年頭のご挨拶



医療法人 立川メディカルセンター
理事長

吉井新平

新年明けましておめでとうございます。本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

法人第一の目標である立川総合病院・腎センター・健診センター3施設の移転に関し、昨年8月上条高畠土地区画整理組合が設立され、フェニックス大橋一東西道路が長岡東バイパスと交わる予定の角地38ヘクタールの造成も始まりました。新病院はこのうち10ヘクタールの用地に平成28年秋の開院を目指しております。

同地区には商業施設や住宅地が計画され、既存の小・中学校とも隣接する閑静な市街地となることから、環境に合わせ病院は5階建ての低層とし、ヘリポートのみ6階屋上に設置、広域からの救急要請にも対応可能とします。また出来るだけ敷居の低い病院をめざしており、その一環として駐車場は2000台分を確保、駐車スペースに不安のないようにいたします。

病院の東には東山の眺望、南には美田が広がります。広大な病院用地のため、数十年後、同じ用地内に同規模の病院が建てられ、以後これを繰り返すことが可能です。

昨年、左岸バイパスとともに開通したフェニックス大橋の効果は予想をはるかに上回っているようで、東西道路が全線開通できれば新病院と悠遊健康村病

院群が直通で結ばれ、連携がよりスムーズになることが期待されます。

現神田地区の施設も有効利用予定ですので、法人内の新病院、悠遊健康村病院群と一体となり、その時々の需要に見合った医療・介護の提供が可能となります。

昨年小千谷市が二次医療圏である中越医療圏へと組み込まれました。小千谷総合病院と魚沼病院が統合し、平成28年秋に市中心部の北側に開院するとお聞きしております。同時期に開院予定の新病院、悠遊健康村病院群とも連携させて頂き、地域に貢献できる法人となって行きたいと存じます。

悠遊健康村病院群のさらなる活性化も進んでおります。晴陵リハビリテーション学院では、今年より先進的なカリキュラムに改変いたしました。晴麗看護学校とともに医療人育成も強化してまいります。

柏崎厚生病院群では引き続き地域医療に貢献し、安心・安全の施設管理もさらに強化してまいります。

本年も地域の皆様の安心・安全に貢献し、地域の発展に微力ながらも寄与させて頂きたいと存じます。皆様におかれましてはご指導ご鞭撻のほどを切にお願い申し上げます。

皆様のご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

明けましておめでとうございます。

国は4月からの消費税の引き上げに対して、税の軽減措置など様々な対応策を打ち出しています。そのような中で議論の一つになっているのが、4月より同じく行われる診療報酬改定です。医療も消費税と無関係ではなく、その引き上げ分を誰がどのように負担するのか問題となっています。とりあえず意見集約して、結果はいつものように痛み分けとなるのでしょうか、残念ながら将来に向けてのしっかりとした計画が見えてきません。

私たちは何よりも、地域医療の充実こそが使命と考えております。今後も何卒宜しくお願ひします。



柏崎厚生病院 院長
松田 ひろし



立川総合病院 院長
岡部 正明

新年おめでとうございます。立川総合病院では、全人的医療の展開を目指しております。しかし、科によっては医師・看護師の不足が続き、また建物・設備の許容量にも限りがあり、診療に一部制限が生じていることをお詫び申し上げます。皆様のご要望に100%お応えできるよう引き続き努力してまいります。また、安全で安心な医療を提供し、さらには最新の医療を積極的に取り入れるべく、スタッフ一同一層の修練を重ねてまいります。当院では日本病院会のQIプロジェクト（医療の質向上策）に参加しています。また、医療事故院内調査（検証会議）を、法制度化前に先駆けて取り組んでいます。



悠遊健康村病院 院長
立川 浩

新年あけましておめでとうございます。今年は、国による医療・介護分野での在宅重視という流れの一環として、地域医療の安定を図る観点から、地域毎に病院の機能を急性期・回復期・慢性期に分け、再編する取り組みが本格的に始まる年となります。悠遊健康村病院及び悠遊苑は、以前より病棟毎に急性期・回復期・慢性期といった機能を振り分けて運営し、適正な医療・介護サービスの提供に努めております。また、併設する‘たちかわ訪問看護ステーション’は、訪問看護はもとより訪問リハビリテーションにも力を入れ、ご自宅での生活をより充実したものにする在宅復帰支援の取り組みも行っております。今後も当施設の機能を十分に生かし、急性期病院からの患者受け入れを積極的に行い、近隣の開業医の先生方とも連携を図りながら、より良い在宅復帰・生活支援に努めて参ります。

皆様にとりまして、良い一年でありますよう心よりお祈りします。

副作用は誰にも起こる

医薬品副作用被害救済制度とは…

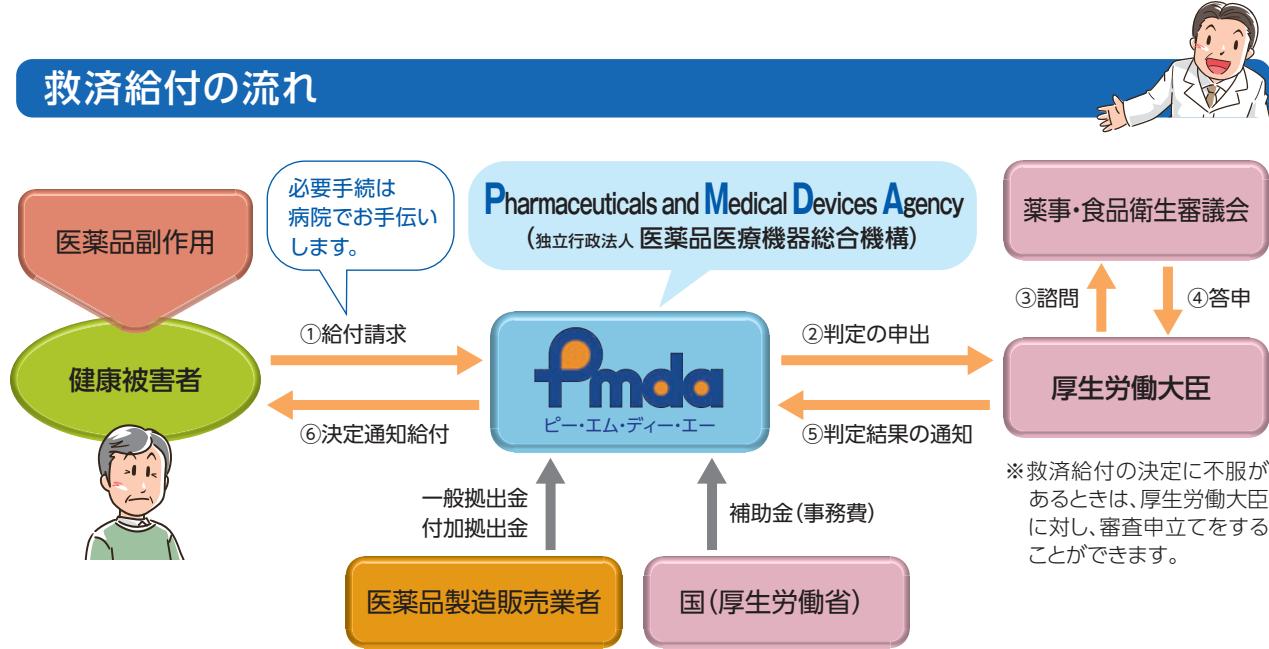
医薬品等により健康被害を受けられた方を迅速に救済するための公的な制度です。

「医薬品副作用被害救済制度」 「生物由来製品感染等被害救済制度」

給付の内容

- | | | | |
|--------------|-------|----------|------|
| I 入院を必要とした場合 | ①医療費 | ②医療手当 | |
| II 障害が残った場合 | ①障害年金 | ②障害児養育年金 | |
| III 死亡した場合 | ①遺族年金 | ②遺族一時金 | ③葬祭料 |

救済給付の流れ



救済制度についての詳細は…

■ホームページのご案内 <http://www.pmda.go.jp>

詳しくは [副作用 救済] または [PMDA] で [検索] ↗

- 制度の仕組み
- 請求書類ダウンロード
- Q&A
- 給付の決定に関する情報

- 請求手続き
- 対象除外医薬品一覧
- 給付額一覧

などについてご案内します。

■救済制度相談窓口

電話番号 0120-149-931

受付時間 [月～金] 9時～17時 (祝日・年末年始を除く)

Eメール kyufu@pmda.go.jp

る！ 医師・患者・家族とともに 知っておきたいこと



立川総合病院でこの制度を活用しています

病理科医長 岡崎 悅夫

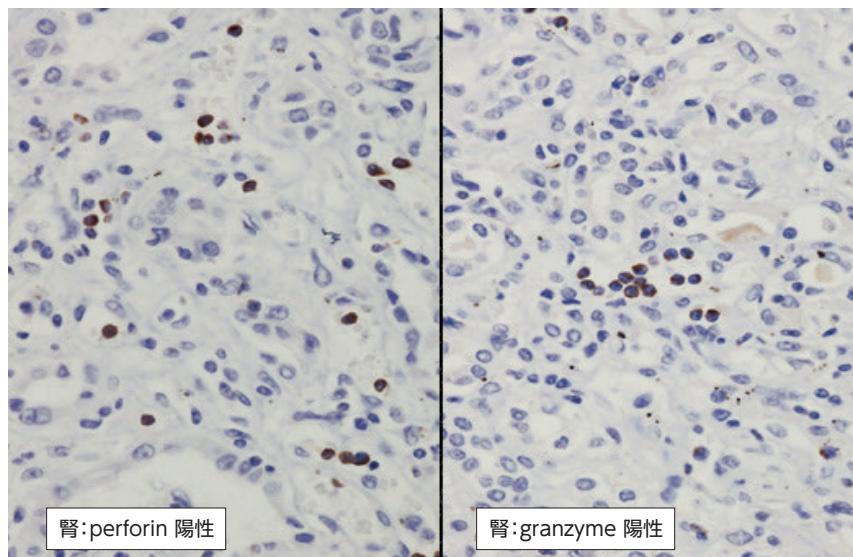
くすりは処方薬・市販薬いずれも有効性と安全性を確かめて認可されていますが、患者の体質や体調、使い方によっては副作用をおこすことがあります。適正に使われたけれど、入院を必要とする程度を超えた副作用の被害例は死亡もふくめ救済制度の対象になります。しかし審査をもとめる件数は少なく、2012年度厚生労働省への副作用報告は約4.5万件でしたが、副作用被害の救済請求件数は1,280件にすぎませんでした。申請が少ない理由は、①制度の存在を知らない②申請書類の記入が煩雑すぎると言われ、新聞等メディアを使い広報しても増加していません。医療関係者も知らない人が多いので無理もありません。副作用の種類は多種多様で頻度もまちまちで、疑う場合は担当医か患者相談窓口に相談してください。専門家と連絡を取ってご協力します。

ところで、副作用全体のうち1割余りが薬の使用量と関係なく起きる特異体質的な (idiosyncratic) 反応で、重篤な病状になる例が少なくありません。最近、救済制度の適用申請を一度却下されたが、私どもの努力で、再度の申請が認定された事例を経験したので、何がポイントか、具体的に考えてみたいと思います。

2011年に抗てんかん薬を使用中に腎障害を起して死亡した方が、死因究明のため病理解剖されておりました。被害救済制度申請書類を救済機構に提出したのですが、当局は「判定するための情報が少なすぎる（文献資料と事例の検討資料どちらの不足を指摘したのか不明）、薬の使い方が適切で

ない」との理由で給付の対象外との決定を受けました。しかし、2012年になって最新の外国文献に「当該薬と遺伝形質の或る型が接触すると異常な反応が起り、多臓器不全をきたす例もある」と報告されていました。自験例の腎臓、肝臓、副腎、心臓は、CD8Tリンパ球とマクロファージ浸潤が特徴的で、免疫染色標本でみると組織障害をきたすたんぱく分解酵素 (perforin, granzyme ; 陽性細胞が褐色に染まっている。※図参照) を保有する細胞傷害性Tリンパ球が浸潤していました。この所見は、薬剤と特殊な体質により特異的に細胞傷害性T細胞が産生され、組織の障害を起こしたこと示しています。この内容を学会報告や英文論文で発表したことを書き添えて再度申立てたところ、今度は全面的に容認する旨の通知を受けることができました。

病理解剖は、病因や病態の事実関係を究明することによって、死者が遺族に残したメッセージを掘り起こしてお伝えする作業もあります。立川総合病院ではこのような活動も行い、患者のための医療を目指して努力しております。



立川メディカルセンター 平成25年度 大忘年会

アオーレ長岡
12/13(金)

I 部 職員表彰 2部門が受賞

■ 柏崎厚生病院 地域支援チーム

《受賞理由》

- ・医療・介護保険でいくつものサービス事業所を開設し提供している。
- ・精神障害者・認知症高齢者とそのご家族の在宅生活に、安心と信頼を積み重ねる。



理事長挨拶

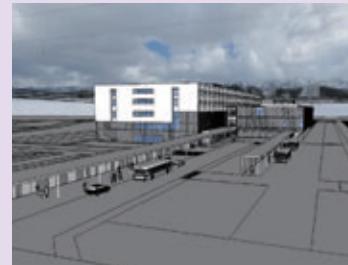


(左 黒崎師長・右 阿部副院長)

■ 立川総合病院 阿部博史副院長

《受賞理由》

- ・日頃からご自身の健康管理、増進に留意され、同僚や部下にも好影響を与えられている。
- ・今年、参加された競技会で競技中に怪我をされた方に適切な処置を行われ、感謝の言葉が届けられた。



新病院全景(西側から)
玄関付近は“がんぎ”でお迎えします。



2階 外来
天井は自然光を利用し、明るく広い
設計です。

理事長挨拶

一年の労をねぎらうとともに、新病院の完成予想図をもとに進捗状況が述べられました。

II 部 アトラクション 2グループが登場

■ RESET…職員も参加している、アマチュアバンドです。

ベンチャーズの曲を中心に演奏いただきました。

■ YOYOUバンド…悠遊健康村病院の先生方の合唱隊です。

世界の民謡を熱唱いただきました。



RESET



最後まで大盛況で閉会となりました。



YOYOUバンド(左から 直井先生 片山先生 高崎先生)

山谷クリニック

院長

山谷 春喜 先生

- 開業年月／平成10年11月
- 診療科目／内科・消化器内科・小児科
- 中心となる診療科／消化器内科
- 住所／〒954-0051 見附市本所1-12-10
- TEL／0258-61-1388 FAX／0258-61-1710
- ご出身地／見附市
- ご趣味／温泉めぐり



自院の特徴と診療方針

明るく楽しく元気な診療所を目指しています。

診療日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	
15:00～18:00	○	○	/	○	○	/	



窪田医院

院長

窪田 久 先生

- 開業年月／平成9年8月
- 診療科目／内科・消化器内科
- 中心となる診療科／内科・消化器内科
- 住所／〒940-1151 長岡市三和1-3-27
- TEL／0258-39-3193 FAX／0258-39-3194
- ご出身地／長岡市
- ご趣味／ボウリング 将棋



自院の特徴と診療方針

消化器内視鏡検査で胃癌や大腸癌を早期に発見することを目指しています。

診療日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
15:00～17:30	○	○	/	○	○	/	



※第4土曜日は休診

Merry Christmas 脳神経外科病棟(5B)でクリスマス会

12/20
金

クリスマス目前の12月20日金 デイルームを会場に行われました。

日頃はベッドでの生活が大半となる入院患者さんに、少しでも離床を促し、季節感を味わっていただくことを目的に毎年の恒例行事となっています。

最初はリハビリ職員を中心に準備体操と合唱を行いました。

その後、阿部副院長のハモニカでクリスマスソングのBGMに乗り、職員が用意したクリスマスプレゼントが配されました。心づくしのプレゼントを贈られ、みなさん大変喜ばれていました。



夜間想定の総合防災訓練を実施

12/20
金

12月20日金 東館5A病棟が出火したことを想定し、通報、初期消火、避難誘導を行い、制限時間内で完了いたしました。

各部署においても、マニュアルの改訂を図り、災害時に備えています。



通報訓練



初期消火訓練



避難誘導訓練

長岡市立東北中学校生徒より立川総合病院小児科へDVD寄贈

12/24
火

12月24日火 長岡市立東北中学校3年生から小児科の患者さんに見ていただきたいと、アニメなどのDVDが寄贈されました。総合学習の授業で社会貢献をテーマにして“病院で役立つものを送ろう”とリサイクル回収で得たお金で購入されたそうです。

小林小児科主任医長他 小児科スタッフで贈呈を受けました。クリスマスイブにあたたかい贈り物をいただきました。



贈呈に来院された右から増田大志さん、古澤龍貴さん、平山実莉さん
※このほか、川上遙香さん、佐藤華音さん、渡邊蒼生さんが一緒に活動されたそうです。

法人関連養成施設のご案内

医療法人立川メディカルセンター 晴麗看護学校

■看護学科(3年制)

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目1-22 TEL(0258)39-4181
<http://www.seirei-nursing.jp/> E-mail seirei@seirei-nursing.jp

学校法人 晴陵医療学園 晴陵リハビリテーション学院

■理学療法学科(3年制) ■作業療法学科(3年制)

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越319 TEL(0258)47-4690
<http://www.seiryou-reha.ac.jp> E-mail therapists@seiryou-reha.ac.jp

ながおかたちかわ 2014 No.182
Nagaoka Tachikawa

■編集・発行

医療法人
立川メディカルセンター

〒940-8621 新潟県長岡市神田町3-2-11
TEL (0258) 33-3111 FAX (0258) 33-8811
<http://www.tatikawa.or.jp> E-mail tatikawa@niigata-inet.or.jp

※バックナンバーをご希望の方は上記までご連絡下さい。